

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 26

政策体系	46	事業分類	ソフト事業	所管部局	企画管理部 情報推進課
会計	一般会計	科目	2.総務費 - 1.総務管 - 2.文書広 現年		
事業名	広報発行費				
細事業名	広報発行費				
評価表作成者				企画政策部 企画調整課	野々口 智司

1. 事業の概要

「広報なんたん」（隔月刊、年6回発行）及び「お知らせなんたん」（月2回、年24回発行）各13,000部を市内各戸に配布した。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

市民と行政が共に担うまちづくりの仕組みを築くために、一体感を醸成するための事業。
市民にとってわかりやすく、利用しやすい行政情報の提供に努める。

②事業を実施する必要性

本市においては高齢者世帯も多く、より多くの市民と情報が共有できるように、可能な限り分かりやすく写真やグラフ等を用いた紙媒体の広報誌を発行し、確実に各家庭に情報を届ける必要がある。また、多種多様な情報を集約し、周知することで、情報を必要とする市民の選択の幅を広げることができる。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	6,026	4,593	5,781	4,419	6,025	6,081	6,025
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	340	1,055	1,105	600	600	600
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,026	4,253	4,726	3,314	5,425	5,481	5,425
職員等の従事人員		人/年	—	1.20	1.20	0.50			
人件費		千円	—	7,408	6,813	3,442			
事業費総額		千円	—	12,001	12,594	7,861			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

広報なんたん印刷代	2,289,000円
お知らせなんたん台紙印刷代	1,835,400円

5. 事業結果の概要

広報なんたん	6回発行
お知らせなんたん	24回発行

6. 活動の詳細

1. 広報「なんたん」の発行		
広報「なんたん」を隔月の第4金曜日に発行した。	4・5月号 4月～5月 6・7月号 6月～7月 8・9月号 8月～9月 10・11月号 10月～11月 12・1月号 12月～1月 2・3月号 2月～3月	4・5月号(28P) 5月21日発行 6・7月号(22P) 7月27日発行 8・9月号(16P) 9月24日発行 10・11月号(20P) 11月26日発行 12・1月号(28P) 1月28日発行 2・3月号(26P) 3月25日発行
2. お知らせ「なんたん」の発行		
お知らせ「なんたん」を月2回(第2・第4金曜日)発行した。	4月9日、23日、 5月14日、28日、 6月11日、25日、 7月9日、23日、 8月13日、27日、 9月10日、24日、 10月8日、22日、 11月12日、26日、 12月10日、24日、 1月14日、28日、 2月10日、25日、 3月11日、25日	4月9日(3枚)、23日(2枚) 5月14日(2枚)、28日(4枚) 6月11日(3枚)、25日(3枚) 7月9日(3枚)、23日(3枚) 8月13日(3枚)、27日(3枚) 9月10日(3枚)、24日(3枚) 10月8日(4枚)、22日(4枚) 11月12日(3枚)、26日(3枚) 12月10日(2枚)、24日(3枚) 1月14日(3枚)、28日(3枚) 2月10日(2枚)、25日(3枚) 3月11日(2枚)、25日(4枚)
3. 広報広聴委員会の開催		
広報広聴業務に必要な情報の収集及び把握に努めるとともに、的確で能率的な運用を行う為、各部局から委員を選出し会議を行った。	5月26日(水)、 7月28日(水)、 9月29日(水)、 11月25日(木)、 1月25日(火)、 3月17日(木)	全6回開催

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

広報「なんたん」では、市の計画や予算、事業制度の紹介を中心に、お知らせ「なんたん」については、行政行事や市民生活に関する記事、イベント告知を中心に情報を整理して発行することができた。
ただし、お知らせ「なんたん」に掲載する記事が多く、市民の方からは枚数が多いというご意見もあることから、CATVの文字放送機能等も活用するなど、記事内容に添った発信方法というものを再検討する必要があると考えている。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

広報アンケートの結果を踏まえ、「広報なんたん」では市の計画・予算や新しい事業・制度を紹介した記録性重視の内容に、「お知らせなんたん」は行政情報や市民生活に関する記事やイベント告知など定期的なお知らせを中心に掲載するなど、情報整理をすることで効果的な取り組みができた。
今後は、CATVの行政広報番組を充実拡大することによって、各年齢層の市民に対応できる多様なメディアでの広報活動に取り組む必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
広報誌(紙)の特色を出すため、記事の選別を行い簡略かつ明瞭化を心がけ体裁を工夫した。
- ②当該事業のアピール事項 隔月刊誌「広報なんたん」と隔週刊紙「お知らせなんたん」の定期的な発行により、市民に必要な情報をわかりやすい紙面で伝えることができた。広報アンケートをとり市民の意見や感想を聞き取ることによって、市民に一番身近な情報誌の内容充実に役立てられた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等 現在、広報誌(紙)への広告掲載予定はないが、自主財源確保のための広告料収入の品位、公共性、公益性の観点からの慎重な審議が必要である。